

平成24年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

1項 教育総務費

小中学校課（内線：7935）

4目 教育連絡調整費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 少人数学級を活かす学びと指導の創造事業	14,520	0	14,520				14,520	
トータルコスト	16,934千円（前年度0千円）[正職員：0.3人]							
主な業務内容	市町村への補助金交付、研修会の開催、連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	-							

事業内容の説明

1 事業の概要

平成24年度から少人数学級の対象学年を小中学校の全学年に拡充することを契機に、本県児童生徒の「活用する力」「内発的な学習意欲」の向上を目指して、少人数学級の利点を活かした授業改革を全県の小中学校で展開する。

2 事業内容及び事業費

（単位：千円）

区分	予算額	事業内容
市町村への補助金	8,820	中学校区での小・中学校の連携による学校づくりを軸にした授業改革を推進するためモデルケースを設定し、県内外での研究会や先進校視察・教材開発等必要な経費を助成する。 420千円×21中学校区
教育研究団体への補助金	5,100	各郡市の小学校教育研究会や中学校教育振興会による教科を軸とした授業改革を推進するため、県内外での研究会や先進校視察・教材開発等必要な経費を助成する。 300千円×17団体
研究主任及び研究推進責任者研修会の開催	600	各学校、教育研究団体において授業改革の中核となる者に対し、効果的な研修計画の企画立案や研究推進のための組織マネジメント等の研修会を開催する。 開催回数：年4回
合計	14,520	

鳥取県における

学力向上 ~授業改革を通して~



3 これまでの取組状況、改善点

- ・本県の児童生徒の学力・学習状況は、これまでに行われた全国学力・学習状況調査等から、全国比で一定水準以上の状況にあるが、今後はより一層「活用する力(思考力・判断力・表現力)」の育成や、「内発的な学習意欲」の向上が必要である。